

授業科目	臨床看護総論	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1年次後期	1	講義	30時間
到達目標	1. 健康上のニーズをもつ生活者と家族について理解する。 2. 健康の保持・増進期の看護方法を理解する。 3. 急性期の経過をたどる患者の看護の方法を理解する。 4. 慢性期の経過をたどる患者の看護を理解する。 5. 回復期の患者の看護の方法を理解する。 6. 終末期の患者の看護の方法を理解する。					講師
						専任教員
授業計画						
1回	人のライフサイクルをとらえた看護					
2回	家族の理解					
3回	家族の健康上の理解と看護					
4回	継続看護					
5回	健康の保持・増進の看護					
6回	急性期における看護					
7回	急性期における看護					
8回	急性期における看護					
9回	慢性期における看護					
10回	慢性期における看護					
11回	慢性期における看護					
12回	回復期における看護					
13回	リハビリテーション期における看護					
14回	終末期における看護					
15回	終末期における看護					
評価方法	修了試験 選択問題又は論述問題による筆記試験（100%）					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学④臨床看護総論 医学書院 看護過程にそった対症看護 第5版 学研メディカル秀潤社 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院					
備考	教科書を中心に予習・復習を行い講義に臨むこと					